

大阪大学未来基金

活動のご報告とご寄付のお願い



世界屈指の研究型総合大学へ

～ 知の協奏と共創 ～

大阪大学は、地元の関西財界や大阪府民の熱意ある活動の末、帝国大学でありながら民間の意思と財源により創設された帝国大学として1931年に誕生しました。

爾来、源流である懷徳堂と適塾の自由・進取の精神を受け継ぎ、豊かな教育研究を実践することで、多くの有為な人材を社会に送り出し、最先端の学術研究の成果を世界に還元してきました。これこそが「地域に生き世界に伸びる」をモットーとする大阪大学の真価です。

大阪大学は、この真価にさらに磨きをかけ、社会の旗手として、広く世界に夢と変革をもたらす原動力となることを目指しています。

創立90周年の2021年を見据えて策定した『OUビジョン2021』では、組織の内と外に立ちの厚い壁を取り払い、大学の知を広く世のため、人類社会の幸福のために開放すること、すなわち「Openness（開放性）」を大学運営の基軸としました。

その上で、卓越した知の探究を礎としながら、学問分野間で知の交差に挑むとともに、社会の多様な担い手と協働することにより「知の協奏と共創」を実現することで、「世界屈指の研究型総合大学」へと発展していきます。

大阪大学未来基金は、長期的に安定した財政基盤を確立するために2009年に設置以来、多くの皆さまからの温かいご支援により順調に拡大してきました。この基金を貴重な財源として活用し、教育研究環境を一層充実できますことを心より感謝しております。

世界屈指の研究型総合大学へと発展していく上で、大阪大学未来基金は財政面で大きな支えとなります。卒業生の方々をはじめ、広く地域の方々や企業・団体等の皆さまには、引き続き大阪大学未来基金に温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

大阪大学総長 西尾章治郎



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
わが国の景気回復の足取りが重く、所得の改善も遅れている状況にありながら、平成27年度もご寄付受入は増加傾向を続け、お蔭さまでご寄付の受入総額は平成28年1月に40億円を超えました。温かいご支援を賜りましたことに、深く感謝しております。

基金残高は32億円に

大阪大学未来基金の設置当初（平成21年5月）から平成28年3月末までの収支状況は、以下の通りとなっております。

収入総額は、42億4408万円となりました。その内訳は、学内基金等の組入れ分も含めて寄付受入が41億6299万円、運用益が8109万円となっております。

支出総額は、9億9028万円となりました。その内訳は、奨学金支給など全学事業への支出が2億4306万円、学部の教育研究事業等のあらかじめ目的を指定したプロジェクト事業への支出が7億3478万円、活動費への充当が1243万円となっております。

この結果、平成28年3月末日の大阪大学未来基金の残高は32億5380万円で、前年同期比7億5656万円の増加となりました。

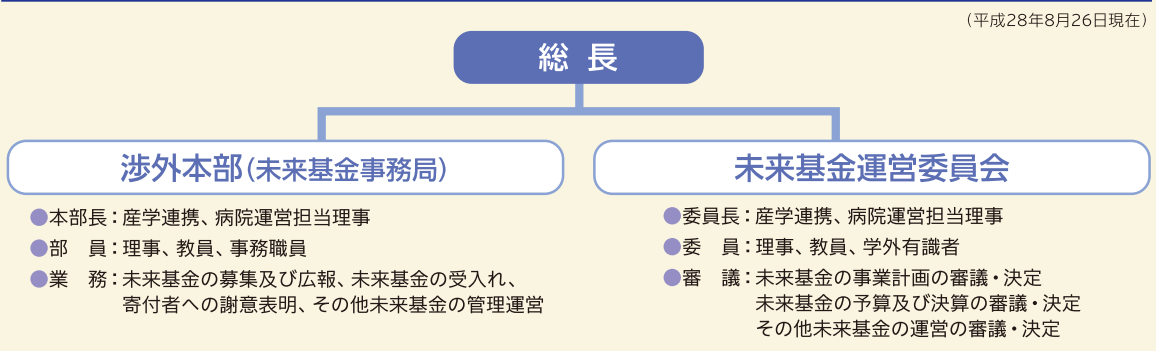
大阪大学未来基金は、皆さま一人ひとりのご支援に支えられています。感謝の気持ちを忘れずに大阪大学未来基金を育て、活動をさらに活発化してまいりたいと、今後とも何とぞご支援を賜りますようお願い申し上げます。



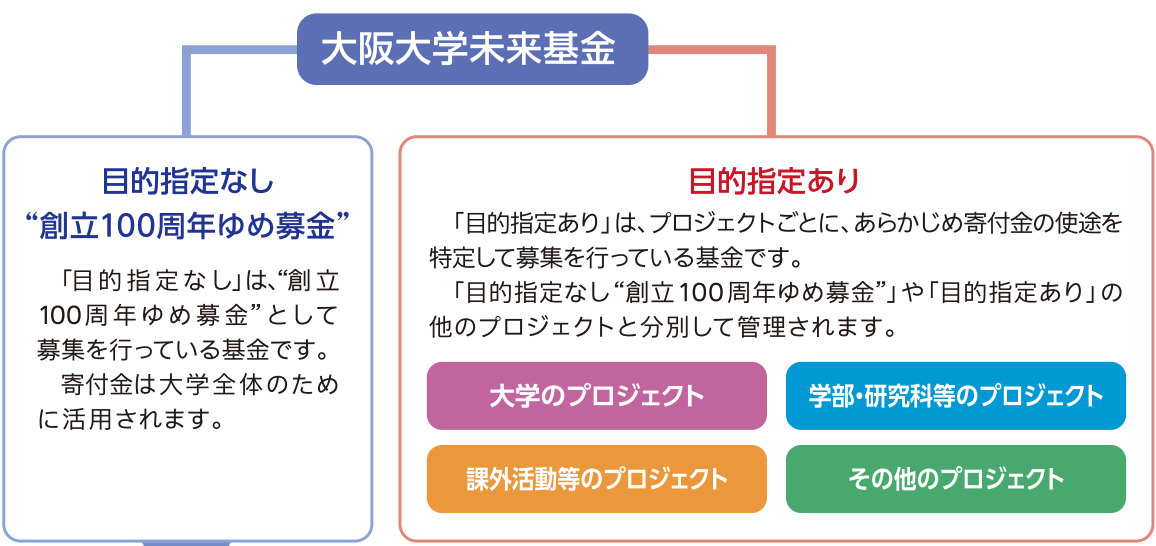
理事・副学長、渉外本部長
吉川 秀樹

平成21年5月1日～平成28年3月31日		
	内 訳	金 額（円）
収 入	寄 付 受 入	4,162,993,405
	運 用 益	81,090,570
	小 計	4,244,083,975
支 出	全学事業への支出	243,064,385
	学部等事業への支出	734,784,868
	活 動 費	12,431,141
	小 計	990,280,394
基金残高（平成28年3月31日現在）		3,253,803,581

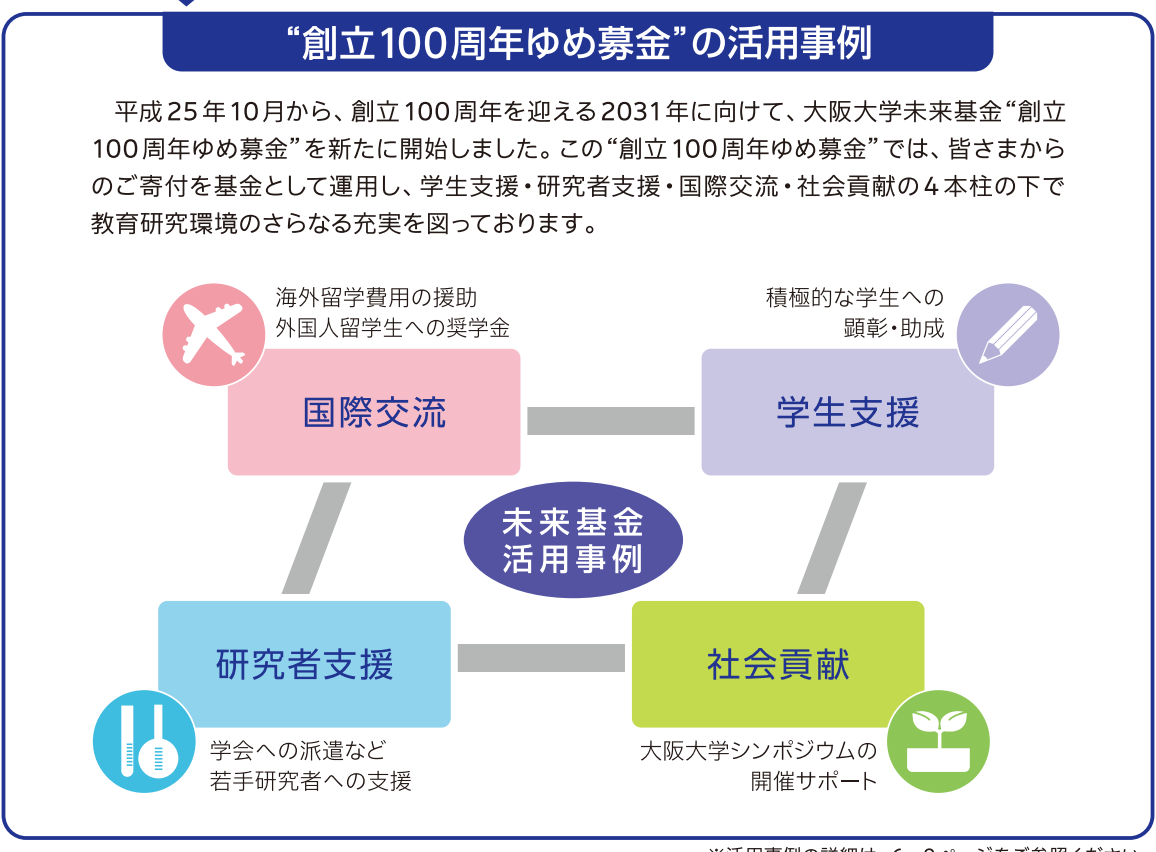
大阪大学未来基金の管理運営体制



大阪大学未来基金には、寄付金の使途を特定しない「目的指定なし」の基金と、寄付金の使途を特定した「目的指定あり」の基金があります。



※プロジェクト情報は大阪大学未来基金のホームページをご覧ください。



※活用事例の詳細は、6～9ページをご参照ください。

総長表彰事業

総長からの直接の表彰が、
課外活動の励みになります。

学生の課外活動の充実とさらなる活発化をめざし、課外活動全般で優れた成績や社会からの高い評価を得た団体・個人を、総長が表彰しています。

第16回「課外活動総長賞」 (平成27年7月28日表彰)

課外活動 総長賞	受賞団体	表彰の対象となった成績等
優秀賞	落語研究部	第12回全日本学生落語選手権 策伝大賞 優勝 など
	競技かるた会	第21回全日本大学かるた選手権大会(団体戦) 優勝 など
特別賞	漕艇部	平成26年度関西選手権競漕大会(男子対抗エイト) 優勝(51年ぶり) など
	齊藤 丈晃 (準硬式野球部)	平成27年度関西六大学準硬式野球 春季リーグ ベストナイン賞 など
	アーチェリー部	第55回関西学生アーチェリーリーグ戦 男子第3位、全日本学生アーチェリー男子王座決定戦 出場決定 など
	奇術研究会	2014年度関西学生奇術連盟賞 プロダクション部門 1位～3位 受賞
	環境サークル GECS	第12回全国大学生環境活動コンテスト 環境大臣賞(グランプリ)受賞(2年連続) など
	OUCT-Polaris	米国AUVSI(Association for Unmanned Vehicle Systems International)主催の自動航行船コンテストに出場し、6位入賞
	柳川 朔(文・4)	全米放送局NBCのコメディ大会“StandUp NBC”に出場し、日本人として初のファイナリスト など

課外活動用 高額物品援助事業

高額物品の維持・整備により、学生が
安心して課外活動に取り組めます。

課外活動に必要な機材等の不足を解消し、課外活動の活性化と活動環境の安全化を図るために、大学・学部公認の課外活動団体を対象として高額の物品を援助しています。

＜平成27年度に援助した物品の一例＞



●映画研究部：デジタル一眼カメラ ●体操部：平均台練習用 着地マット2枚



●フィールドホッケー部：移動式防球フェンス15基

学部学生による自主研究奨励事業

アドバイザー教員のサポートで、
自由な発想に基づく自主研究が行えます。

学生の“教わる”から“自ら学ぶ”意識への転換を促すとともに、物事の本質を見抜く資質を身につけ、将来、グローバル社会で活躍できる人材を育成することを目的に、アドバイザー教員の指導のもとで行う自主研究に対して研究費を支給しています。

平成27年度は、全学57の採択テーマから選抜された13の学生らしいユニークな発想に基づく研究成果を、平成28年5月の春の大学祭「いちよう祭」にて発表しました。



※株式会社三井住友銀行様からいただいたご寄付で、本事業費の一部を賄っています。



学生朝食支援事業

無料朝食で阪大生の朝を支援します。

学生に健康で規則正しい生活を送ってもらうために、日本ケロッグ合同会社様、江崎グリコ株式会社様との産学連携による「阪大×ケロッグ×グリコ“栄養バランス満点”無料朝食セット」を平成28年5月17日から6月10日まで提供しました。



若手研究者支援事業

グローバルな舞台上、研究者としての視野が広がります。

- 大学院生が、各研究分野の重要な国際シンポジウム等において、在学中に初めて行う研究発表に対して、外国旅費、学会等参加費等の関連経費を支援しています。
- 平成27年度の採択件数は、15件となりました。

刺激を受けた国際学会

本山 卓実 さん〈経済学研究科〉

私はシンガポールで2016年1月に開催された経済学系の学会WEAI 12th Conferenceに参加し、自身のセッションで30分の研究発表を行いました。

研究発表の中で英語でのプレゼン能力を高めていくことが必要であると痛感した一方で、国際学会への参加という貴重な経験を通して、自身の研究活動へのとても良い刺激となったと感じました。



グローバル化推進事業 交換留学奨学金(派遣)

世界を舞台に活躍できる豊かな国際性が身につきます。

学生の海外派遣を促進し、海外の大学等へ留学の機会を与え、国際感覚を備えた学生を育成するため奨学金支援を行っています。



グローバル人材を目指して 許 韵清 さん〈法学部〉

将来、国際的な場でも活躍できる人材になることを目指し、アメリカ西海岸にあるカリフォルニア大学デービス校に2015年9月から2016年6月まで留学しました。サンフランシスコから車で2時間ぐらいかかる小さい町ですが、ほぼ大学生の町とも言える比較的治安のいいところです。

日本に留学している中国人留学生である私にとって、アメリカという、アジアと全く違うところに長期滞在する経験は初めてでした。言葉はもちろん、文化や生活習慣の違いも非常に大きいと感じましたが、異文化を理解し、相手の立場から物事を見るという国際的な視野を備えることができたと思います。

グローバル化推進事業 海外グループ研修助成金

学生自らが企画し、海外での交流や研修活動を行えます。

学生の積極性と企画力・実行力の向上を期するため、任意に結成された学生グループに対して、自らの企画による海外での交流・研修活動に助成金の支援を行っています。



2016年2月、本事業に採択された学生グループ3団体による研修成果の総長報告会が行われました。西尾総長からは、「この事業のことをぜひ下級生など次の世代に継承してほしい。学生には意欲的にどんどん海外に出かけて世界には様々な文化があることを実地に経験してほしい」と激励の言葉が贈られました。



研修を企画、先方と折衝等々

交流が深まった「日蘭学生会議」 榎原 美月 さん〈法学部国際公共政策学科〉

2015年8月に2週間、オランダ・グローニンゲン大学の大学生とともに、オランダにて「日蘭学生会議」を行いました。この活動は、日本とオランダの学生が、学術・文化的交流を行うことを目的としています。

「国際社会の緊張関係が与える影響」について、プレゼンテーションやディスカッション、欧州議会やオランダ陸軍などの関連施設への視察等を通じて、見識を深めました。

EUに所属するオランダと島国の日本、といった違いもありつつも、経済的に深いつながりを持つ隣国の大国と政治的な軋轢が生じている点等様々な共通点もあり、大変面白い議論となりました。また、文化や価値観の違いを受け入れ、他者の意見に耳を傾けることの大切さを改めて実感しました。

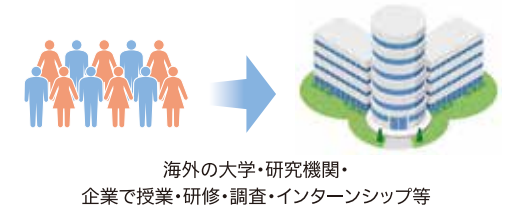
未来基金の事業に採択されたことで、当初の計画より長く交流の時間が持てたこと、訪問する施設の数が増やすことができたことにより、より充実したプログラムとすることができました。ありがとうございました。



グローバル化推進事業 海外研修プログラム助成金

大阪大学独自の海外研修プログラムで国際感覚を養えます。

学生を海外の大学等に派遣し、研修やインターンシップに参加する機会を与える海外研修プログラムを支援しています。参加学生の外国語によるコミュニケーション能力向上、研究活動における国際性の修得、国際感覚豊かな人材の育成が目的です。また、各学部・研究科・センター等主導で計画する派遣プログラムを支援し、大学全体の学生派遣を促進させることも狙っています。



海外の大学・研究機関・企業で授業・研修・調査・インターンシップ等

目覚ましい英語力の伸び！

「長期留学準備用イギリス短期集中英語研修」
(主催：大阪大学国際教育交流センター、国際部国際学生交流課)

本プログラムでは、37名が英国・エセックス大学で5週間の英語研修に参加しました。

プログラムの一環として出発前と現地でのIELTS受験が課されます。2度のIELTSスコアを比較すると、参加者の多くに目覚ましい英語力の伸びが見られます。平成27年度は、18名が本学の交換留学応募時に必要な基準である6.0のスコアを獲得しました。



グローバル化推進事業 研究留学助成金

世界水準の研究活動を志す学生に海外派遣への道が開けます。

大学院生による海外の大学・研究機関における短期研究留学等の研究活動を推奨支援し、国際性豊かで創造的な研究開発活動を独力で展開できるグローバル人材を育成するため、助成金の支援を行っています。



分野の違う学生や研究者とも交流 李 虎 さん〈工学研究科〉

ドイツ最古の工業大学・カールスルーエ工科大学に2016年1月から3ヶ月間留学し、Institute of Nanotechnologyの数値シミュレーショングループで、第一原理計算によるシミュレーションを行いました。

Institute of Nanotechnologyの他のグループとの「博士セミナー」が多く、自分の研究に関連するグループメンバーだけでなく、違う研究分野の学生や研究者と交流が活発に行われていた点に日本との違いを感じました。また、「Nano Café」という休憩所があり、Nano Café timeも毎日不可欠な時間となり、コーヒーを飲みながら、和やかな雰囲気での研究や留学についてお互いの経験を共有しました。

本助成金は、短期留学で国際的研究経験を持ちたい学生にとって大変良い機会を提供してくれます。アジアと違う文化を味わいながら、自分を成長させることができました。



大阪大学中之島キャンパス再開発事業

中之島キャンパスの深化 ～中之島キャンパスから中之島アゴラへ～



大阪大学は2015年12月、大阪大学未来基金に「大阪大学中之島キャンパス再開発事業」を設置し、広く寄付を募っております。

この事業は、大阪市北区中之島4丁目エリアの発展性と重要性を鑑み、2021年の大阪大学創立90周年事業の一環として、中長期的にこのエリアをさらに有効利用し、再開発を推進するものです。

中之島アゴラ構想とは

中之島4丁目エリアの再開発では、豊中・吹田・箕面の各キャンパスで進化してきた知を、大阪大学の発祥の地たる中之島で交差させ、文化・学術・芸術・医学の発信拠点となり、アートや社会学共創や産学共創の拠点となる「中之島アゴラ」として深化させてまいります。

※古代ギリシャの時代、都市国家（ポリス）の公共広場は「アゴラ」と呼ばれていました。



基金の活用プラン

大阪大学中之島センターの再整備

中之島4丁目エリアにおける
大阪大学の活動支援



大阪市北区中之島4丁目エリアは大阪帝国大学発祥の地であり、大阪大学医学部、歯学部および理学部があったゆかりの場所です。大阪大学創立70周年記念事業の一環として、2004年4月に大阪大学中之島センターを開設し、今では大阪大学中之島キャンパスとして、本学の社会学連携活動の拠点になっています。

中之島の地で事業を行う企業や諸団体と本学が共に手を携え、大阪から学術や科学技術はもとより、大阪の文化・芸術の息吹をも積極的に発信し、市中心部のにぎわいの創出にも貢献してまいります。

大阪大学へのご寄付につきましては、確定申告を行うことにより、税制上の優遇措置の適用を受けることができます。

個人の皆さま

所得税の軽減

大阪大学への寄付金は、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金（所得税法第78条第2項第2号）として財務大臣から指定されています。

具体的には、寄付金の額（当該年分の総所得金額等の40%を限度とする。）から2,000円を除いた額を所得から控除することができます。

住民税の軽減

大阪大学への寄付金を個人住民税の控除対象としている都道府県・市区町村にお住まいの皆さまは寄附金税額控除の適用を受けることができます。

具体的には、寄付金の額（当該年分の総所得金額等の30%を限度とする。）から2,000円を除いた額に4%（都道府県民税分）・6%（市区町村民税分）を乗じた額が、翌年の個人住民税額から控除されます。

大阪大学への寄付金は、例えば以下の都道府県・市区町村の個人住民税控除対象となっております。

（都道府県）大阪府 （市区町村）大阪市・吹田市・豊中市・茨木市・箕面市

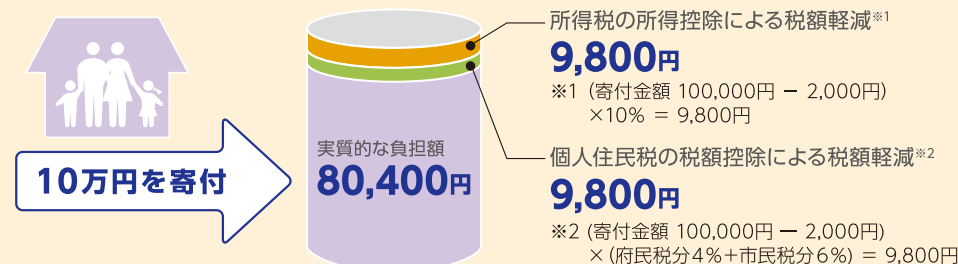
具体例

大阪市・吹田市・豊中市・茨木市・箕面市にお住まいの方は、寄付金の額（当該年分の総所得金額等の30%を限度とする。）から2,000円を除いた額に10%（都道府県民税分4%、市区町村民税分6%）を乗じた額が、翌年の個人住民税から控除されます。

大阪府（個人住民税控除対象外の市町村）にお住まいの方は、寄付金の額（当該年分の総所得金額等の30%を限度とする。）から2,000円を除いた額に4%（都道府県民税分4%）を乗じた額が、翌年の個人住民税から控除されます。

寄付金控除の計算イメージ

給与収入 700万円、配偶者+子ども2人、
所得税の限界税率10%で大阪市にお住まいの方が10万円を寄付された場合



（注）上記はあくまでも目安となっております。収入の種類、各種所得控除等により変動が生じることがあります。

法人の皆さま

大阪大学への寄付金は、法人税法上の指定寄附金（法人税法第37条第3項第2号）として財務大臣から指定されています。

具体的には、寄付金の全額を、一般の寄付金の損金算入限度額と別枠で、損金算入することができます。

ご寄付をいただいた皆さまへの顕彰

感謝状の贈呈

ご寄付をいただいた皆さまに感謝の心を込めて、大阪大学総長から感謝状を贈呈させていただきます。



ご芳名掲載

大阪大学の未来基金ホームページに「WEB芳名帳」を設けております。ご寄付をいただいた皆さまのご芳名を掲載し、永く大阪大学の歴史に刻まさせていただきます。

www.miraikikin.osaka-u.ac.jp/names/



本学が発行しております広報誌「大阪大学ニュースレター」(年4回発行)に、ご寄付をいただいた皆さまのご芳名を掲載させていただきます。

平成26年3月発行の「大阪大学ニューズレター第63号」からご芳名の掲載を始めさせていただきます。発行月の前3ヶ月の間にご寄付をいただいた皆さまのご芳名を掲載させていただきます。



「大阪大学感謝の集い」ご招待

一定額以上のご寄付をいただいた皆さまを、大阪大学総長が主宰する「大阪大学感謝の集い」にご招待させていただきます。



「大阪大学未来基金」にご寄付をいただいた皆さまに感謝の意を表し、さまざまなかたちで顕彰をさせていただきます。

高額寄付者顕彰プレート

累計50万円以上のご寄付をいただいた
皆さまには、ご芳名をプレートに記し大阪
大学中之島センターおよび大阪大学会館
に掲示させていただきます。

プレートはご寄付額に応じて「プラチナ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の4種類があります。

[illegible]

高額寄付者顕彰プレート 大阪大学会館(上)、大阪大学中之島センター(下) (平成28年5月31日撮影)

個人の皆さま

払込取扱票がお手元にある場合は、お手数ですが、大阪大学 未来基金事務局までお問い合わせください。

ゆうちょ銀行、金融機関の窓口でのお支払いの場合

所定の4連式払込取扱票をご利用ください。
通信欄に、住所、氏名、電話番号、ご卒業年等をご記入のうえ、ゆうちょ銀行、全国の金融機関で手続きをお願いいたします。



→ ゆうちょ銀行からの払込をご利用の方
→ 金融機関からの振込をご利用の方

クレジットカードをご利用の場合

大阪大学未来基金のホームページからクレジットカードによるご寄付のお申込みを受け付けています。
また、定期的なご寄付のお申込み手続きも行っています。詳しくは大阪大学未来基金のホームページをご覧ください。

※下記のマークがあるクレジットカードがご利用いただけます。



法人の皆さま

専用の申込書がございますので、お手数ですが、大阪大学 未来基金事務局までご連絡をお願いいたします。詳しい手続きをご案内させていただきます。

定期的なご寄付をお申込みの場合

毎年1回定額のご寄付により、大阪大学をご支援いただくものです。所定の「大阪大学 未来基金寄付申込書(口座振替用)」「預金口座振替依頼書」に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒でご返送ください。



ATM、ネットバンキングからのお振込みの場合

大阪大学未来基金のホームページよりお申込み手続き後、ホームページに記載の銀行振込口座にお振込みください。

コンビニ払いをご利用の場合

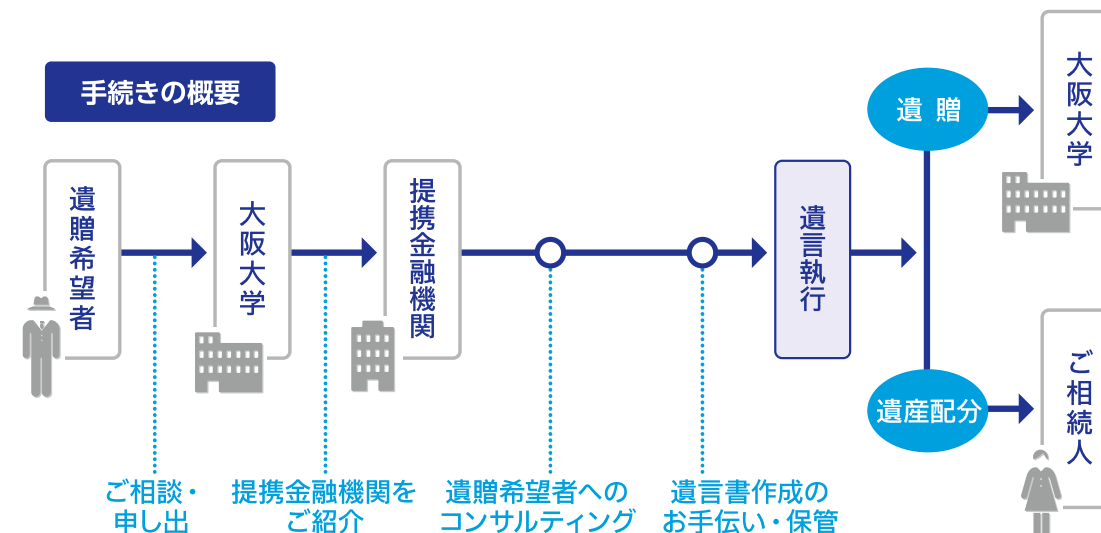
大阪大学未来基金のホームページからコンビニ払いによるご寄付のお申込みを受け付けています。

お申込み後数日で払込用紙をお送りしますので、最寄りのコンビニエンスストア店頭にてお振込みください。

遺贈によるご寄付

遺贈とは、遺言を作成し、ご自身の財産の全部または一部を特定の人や団体に無償で譲与することです。

大阪大学では、遺贈による本学へのご寄付をお考えの皆さまに、豊富な実績・経験を持つ提携金融機関をご紹介します。



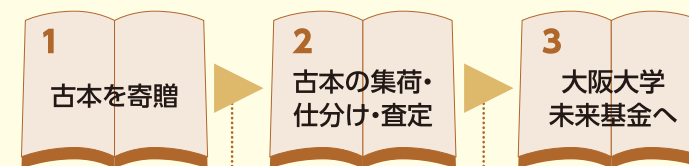
Re:本 古本募金「リボーン」プロジェクト

皆さまが読み終わった書籍が大阪大学の教育、研究活動などに役立てられます。

「Re:本(リボーン)」プロジェクトは、大阪大学の在学生・卒業生・保護者の方・職員など当プロジェクトにご賛同いただける皆さまからの本の寄付によって、阪大生の「未来」を支援する取り組みです。

- ・ご自宅で段ボール箱に詰めて申込み(電話またはWEB)をするだけ。
- ・ご指定のお時間に宅配業者がご自宅にお伺いします。
- ・5点以上であれば送料は当プロジェクトが負担いたします。
- ・詳しくは大阪大学未来基金のホームページをご覧ください。

Re:本プロジェクトの流れ



5冊から送料無料

買取金額の寄付



ホームページはこちらから

大阪大学未来基金

検 索



www.miraikikin.osaka-u.ac.jp



お問い合わせ：大阪大学 渉外本部 未来基金事務局

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1

TEL.06-6879-8327 FAX.06-6879-4337

E-mail : kikin@office.osaka-u.ac.jp